

てつなぎ

保健だより

日中の暑さはありますが、朝・夕方の空気がひんやりし、過ごしやすくなってきました。10月はスポーツの秋・味覚・紅葉の秋といった楽しいことが多い季節ですね。子どもと外で遊ぶもよし、美味しいものを食べるもよし、素敵な景色を見るのもよしそれぞれの秋を見つけてくださいね。今月は「全園児健康診断」と「めのおはなし」です。



秋の全園児健康診断のお知らせ

10月 28日 (月) 13:00～

園医の武井先生が全園児の健康診断を行います。お休みでも、健診だけ受けに登園することもできます。事前に連絡帳にてお知らせください。



10月10日は
目の愛護デー

こどもの眼(視力)の発達

10歳ころまでに視機能の発達がほぼ完成



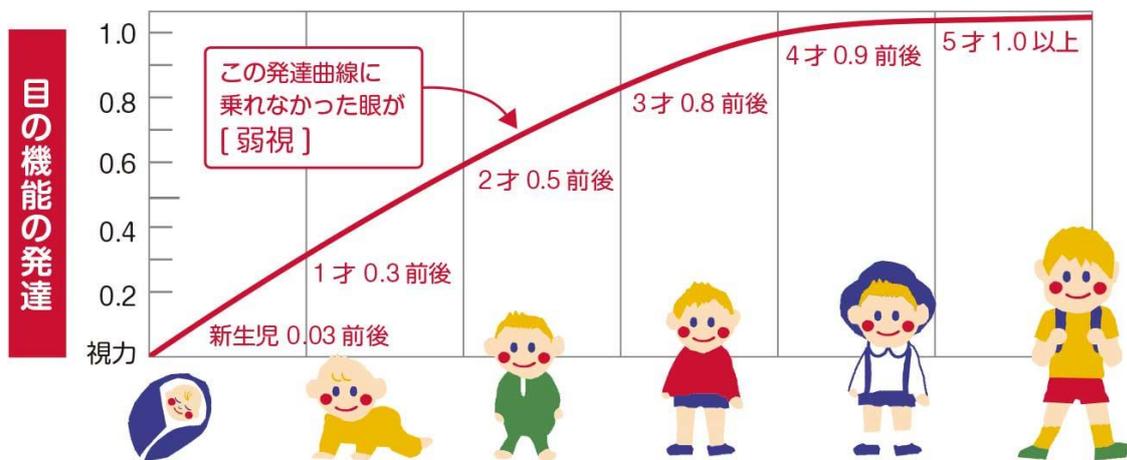
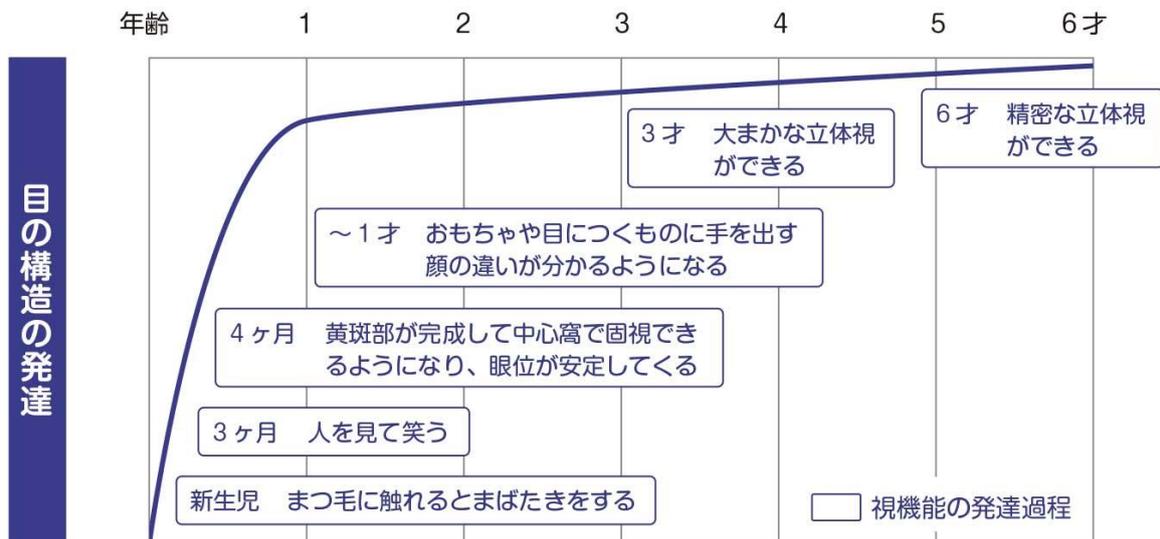
赤ちゃんの視力

生まれたばかりの赤ちゃんの視力は0.02～0.04くらいで、光や物の形がぼんやりとわかる程度です。2～3ヶ月頃になると視力は0.05くらいになり物をじっと見つめたり、動くものを眼で追ったり、人の顔を見て笑ったりという反応がみられます。生後6か月を過ぎると視力は0.1程に成長し、視界にあるもの(おもちゃなど)に手をのばし、つかんだりという動作をします。



6～8歳にはほぼ完成

1歳ころには視力は0.3程度、この時期に目の機能が急速に発達します。3～5才前後で視力は0.8～1.0程度になり、大まかな立体視を獲得出来るようになります。6～8歳頃になると大人と同程度の立体視が獲得でき、視機能の発達がほぼ完成します。



「みる力」と直結する「認識する力」

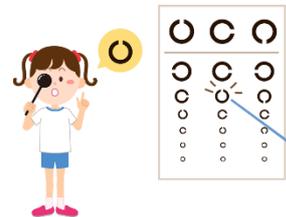
目は「ものを認識する」のに大事な入口

人間が認識する情報のうち80%が視覚によるものと言われています。正しくものを認識することは、脳の発達や心身の成長も促します。見ることで絵を描いたり、ボールをキャッチしたり、障害物をよけたり、ものを見て感動したりと様々です。つまり、目は「ものを認識する」のに大事な入口になるのです。 参照 <https://mirumirunet.com/>

～5才児視力検査を行います～

10～11月に視力検査を行います。

就学時健診前に視力検査の練習もかねて、精密ではありませんが、園でも視力検査を行います。結果は「けんこうのきろく」でお知らせいたします。



今月の様子

今月は比較的みんな元気に登園していましたが、下旬頃には急に涼しい日が多くなったこともあり、風邪症状のお子さんが増えてきました。また、他の園では手足口病の流行があったようです。手足口病のウイルスは複数存在するので2回罹ることもあります。原因の分からない発疹がある場合は、受診をお願いします。(山崎弘美)